



木刈中タイムズ

No. 10

心身ともにたくましく 自ら学び 共に生きる生徒
—笑顔・感動、はつらつ木刈—

自分の身は自分で守るために

印西市立木刈中学校長 泉水 真由美

10月も下旬となり、日没時間が日々早まっています。暗くなりかけの時間帯、目も暗さに慣れていないため、交通事故が発生しやすい時間帯と言われています。また、朝、なんとなく急いでいる人が多い時間帯。注意力が損なわれてしまうことでの交通事故というのもあります。ちょっと立ち止まって、左右を確認してから横断歩道を渡ったり、信号が変わったからといってすぐに飛び出さずに車が来ないか確認したりしてから道を横断するなど、自分達で出来る注意をしていくことが、交通事故をさけることにつながります。“自分の身は自分で守る。” そのためにも、出来ることをしていきたいものです。

また、自転車に乗る際には、普段の生活の中でもヘルメットの着用をしていきましょう。市内の中学生が自転車で通学中に車と接触したけれども、ヘルメットを着用しており、頭部の怪我がなく大事にいたらなかったということがありました。自転車に乗る際にはヘルメットの着用が努力義務としてあります。自転車に乗る際、より安全に乗車したいものです。

なお、印西市は、市が認めた安全基準が満たされている自転車乗車用ヘルメットを購入した場合の助成金制度があります。(詳しくは市のホームページをご覧ください。)

教育実習より

現在、教育実習生2名が本校で学んでいます。これから養護教諭や教諭になることを目指し、日々努力をしています。その実習生から生徒の皆さんへのメッセージです。

9月29日から10月27日までの4週間、養護実習でお世話になっております。教育実習生の岩井睦です。



木刈中学校の生徒の皆さんは、普段の学校生活や体育祭などの行事を通して、元気で積極的な生徒が多い印象を受けました。特に体育祭では、恥ずかしがらずに大きな声で応援したり、競技に真剣に取り組んだりする姿が見られ、クラス全体の団結力と前向きさを感じました。勉強や部活動にも熱心で、それぞれが自分の目標に向かって努力するようすが伝わってきます。

また、挨拶をすると笑顔で返してくれたり、生徒の方から声をかけてくれたりと、学校全体が温かい雰囲気に包まれていると感じました。

実習時間も残りわずかですが、廊下などで見かけたら、気軽に声をかけてくれるとうれしいです。保健室で待っています。

先週から教育実習でお世話になっている古滝守です。

私は、現在教員を目指していますが、中学校に入学する以前は、人と話すことがとても苦手でした。しかし、今から10年前、この木刈中学校に入学し、あることを実践し続けた結果、人と話す勇気を得ました。それは「笑顔で挨拶」です。

はじめは先生方に言われて渋々やっていましたが、笑顔で挨拶をすると臆せず話せることに気付き、自分からするようになりました。「笑顔で挨拶」は、いわば私にとっての「勇気のスイッチ」です。

本校の生徒目標が「笑顔で挨拶」から始まるように、何事も挨拶から始まります。一歩踏み出す勇気が出ない人は、ぜひ「笑顔で挨拶」から始めてみてください。



受賞の記録

○男子バスケットボール部

印旛郡市新人大会 準優勝 → 県大会出場

○陸上競技部

千葉県新人大会

女子共通800m 2位 女子共通走高跳 7位 女子共通走幅跳 6位

男子共通走幅跳 6位

印旛郡市駅伝大会

男子Aチーム 4位 → 県大会出場 男子Bチーム Bチーム2位

女子Aチーム 優勝 → 県大会出場 女子Bチーム Bチーム優勝

区間賞 4名

○バドミントン部

印旛郡市新人大会

ダブルス 5位 1ペア

○サッカー部

印旛郡市新人大会 優勝 → 県大会出場

○剣道部

印旛郡市新人大会

男子団体 優勝 → 県大会出場

女子団体 3位

男子個人 準優勝 → 県大会出場

○国語科

印旛地区読書感想文コンクール

優秀賞 1名

入選 6名

【いじめ相談】

鈴木一成(教頭)・久保谷博(教頭)・菊池秀憲(生徒指導主事)・安西太一・蝦原拓弥・皆川匠
杉森弘美(養護教諭)・太田成美(養護教諭)

【セクハラ相談】

鈴木一成(教頭)・久保谷博(教頭)・岡本里美・賀集瑞帆・宇佐見陽子
杉森弘美(養護教諭)・太田成美(養護教諭)